

グループ協議の進め方について 例（全体研修①）

■本日のねらい

1 グループ協議を通して
研究のねらい、目指す子ども像を明確化します。

- ★時間を厳守する。
- ★司会者はきちんとまとめをする。
- ★質問者ができるだけ、具体を聞き出す。
- ★質問者が困ったら、司会者が問いかけをしてつなげる。

2 グループ協議「研究の課題設定」について

(1) 日程

13時10分～13時20分	全体説明
13時20分～13時35分	自己紹介 ◆発表準備
13時35分～13時47分	グループ協議1
13時47分～13時59分	グループ協議2
13時59分～14時11分	グループ協議3
14時11分～14時23分	グループ協議4
14時23分～14時35分	グループ協議5
14時35分～14時40分	情報交換・振り返り

3 グループ協議の具体的な進め方

(1) 役割分担

- ・発表者1、質問者2～3、司会者1
- ・4人、5人グループの場合は、質問者を複数にする。

ア 発表者

- ・『研究計画書』から、①日頃の実践の課題・悩み ②子どもの実態 ③目指す子ども像について、2分で説明する。
- ・その際、上記①②③について、A4各1枚にキーワードを提示する。

★求められる力……プレゼンテーション力（自分の意見や考えを分かりやすく提示する）

イ 質問者

- ・発表者に対して、分からない点や詳しく聞きたい点を質問する。専門用語、抽象的な言葉については、分かりやすく説明を求める。
- ・①日頃の実践の課題・悩み ②子どもの実態に対して、具体的にどのような子どもの姿にしたいのかを聞く。
- ・そのために、どうしたらいいのかを聞く。
- ・自分の感想や意見も交えながら質問する。否定的、攻撃的ではなく、肯定的、建設的な質問・意見に心がける。

★求められる力……コミュニケーション力（バランスよく相手の話を聞き、自分の意見を伝える）

ウ 司会者

- ・発表から質疑のタイムキーパーも兼ねる
- ・質疑の取り回し。
- ・最後に1分で、質疑の内容をふまえて、グループ協議を総括する。そのために、質疑のやりとりで、もっと深めたいところ、明らかにしたいところでは、発表者や質問者の発言内容を確認したり、問い返したりしていく。

★求められる力……人間関係調整力（意見の違いや対立を整理、調整する）

※司会者、発表者、質問者は右回りで交替

(2) グループ協議の時間

◆発表準備……キーワードを選定し、書き出す。

※司会者、発表者、質問者は右回りで交替

※発表（2分） 協議（8分） まとめ（1分） 所員のコメント（1分）